



■日本板硝子 '86.4.1 日経産業
ガラスペーパー

日本板硝子は、ガラス繊維から作ったペーパーの開発を進めている。現在蓄電池のセパレーターを実用化しており、プリント配線基板、建築材、エアフィルターの開発にも取組んでいる。

■古河電工 '86.4.11 日経産業
中国で光ファイバー

古河電工は、中国の電線工場、西安電纜廠と合弁会社を設立し、光ファイバーを生産する。稼動は来年からで、年間2万km生産する予定である。生産方式は、MCVD法とともにVAD法も導入する。

■日本光学 '86.4.22 日経産業
生体活性ガラス人工歯根

日本光学は、今秋までにリン酸を加えたガラスを使った人工歯根の製造承認を、厚生省に申請する。セラミックス、サファイアより生体親和性が高く、長期間安定して使える。

■日本板硝子、HOYA '86.4.25 日刊工業
非酸化物ガラスで新会社設立

日本板硝子、HOYAの2社は、基盤技術研究促進センターとの共同出資で、カルコゲナイト系ガラスファイバー開発のための新会社「非酸化物ガラス研究開発」を設立した。5年後、赤外線伝送用光ファイバー、光ディスクの実用化を目指している。

■コーニング '86.4.25 日経産業
日本に生産基地

コーニングは、ガラス精密加工メーカー「テコム」の経営権を取得し、社名を「コーニングプレシジョンガラス」と変更した。光ディスク基板、液晶ガラス等オプトエレクトロニクス製品の一貫生産を目指す予定。

■小倉硝子、名工試 '86.4.29 日刊工業
ファインガラスの共同研究開始

小倉硝子、名古屋工業技術試験所は、早ければ6月からファインガラスの合成、加工に関して共同研究を始める。テーマは「自動成形装置を用いたガラスの精密成形加工法」、「磁気ヘッド用ボンディングガラスとホウケイ酸ガラスの合成及び物性試験」の2つである。

■矢田化学、京大化研 '86.5.15 日経産業
結晶化ガラス歯冠

矢田化学と京都大学化学研究所小久保助教授は共同で、リン酸カルシウムを主原料とし約2%フッ化カルシウムを加えた結晶化ガラス歯冠材料を開発した。曲げ強度は人間の歯の6倍以上(1700 kg/cm^2)あり、歯にかぶせても目立たない。合金の様な金属の溶出もなく、寸法も安定している。

■東北大金研、新技事業団 '86.5.21 日経産業
塗布法による光ディスク薄膜

東北大学金属材料研究所の鈴木教授、新技術開発事業団は共同で、水に溶かしたアモルファス酸化バナジウムを塗布する光ディスク薄膜作製技術を開発した。レーザー光を当てるとき半球状にふくれる現象を利用して追記型光ディスクが出来る。感度は金属膜系と同等で酸化劣化もない。コスト



は有機色素系と同等で、耐熱温度は400°Cである。

■日本電気_{ホニカ} '86.5.26 日本経済
光ICで新会社設立

沖電気、住友電工、東芝、日本板硝子、日本電氣、日立、藤倉電線、富士通、古河電工、松下電器、三菱電機、三洋、シャープの13社は、基板技術研究促進センターと共に出資で、10年後の光電子集積回路(OEIC)開発を目指し、新会社「光技術研究開発」を設立した。

■日本板硝子 '86.5.29 日経産業
化粧防音壁材

日本板硝子、川島織物は共同でグラスウールボードに織物を張り合せた、石こうボードの10倍吸音性能のある内装壁材を発売した。

■松下産機 '86.6.11 日刊工業
炭酸ガスレーザーメス

松下産機は、金属ハロゲン化物(TlBr-TlI固溶体)光ファイバーを導波路とした小型軽量炭酸ガスレーザーメスを9月から発売する。

■セントラル硝子、東大生研 '86.6.18 日経産業
ガラス設計用データベース

セントラル硝子と東京大学生産技術研究所は共同で、3成分系ガラス300種のデータベースを試作した。4成分系以上に拡張中である。

■HOYA、新技事業団 '86.6.19 日刊工業
大出力ガラスレーザー

新技術開発事業団は、東京大学物性研究所黒田

助教授の研究をもとに、数kw出力のスラブ型ガラスレーザーの開発を、3、5年後を目指し、HOYAに委託した。

■松下電器 '86.6.20 朝日新聞
高効率SHG素子

松下電器は、ニオブ酸リチウムに水素イオン交換法で導波路をつけた、第二高調波変換効率20%のSHG素子を開発した。

■日立製作所 '86.6.25 日経産業
分布帰還型半導体レーザー

日立製作所は7月からインジウム、ガリウム・ヒ素、リン系の1.3μ用及び1.55μ用分布帰還型半導体レーザーの量産に入る。

■NTT、日電、富士通 '86.6.26 日本工業
低損失光コネクター

日本電信電話、日本電気、富士通の3社が開発した、接続損失0.2dB反射減衰量24dB以下の幹線系シングルモードファイバー用コネクターが市販された。

■沖電線 '86.6.26 日本工業
太陽光伝送光ファイバー

沖電線は、太陽光自動集光伝送装置用光ファイバーの生産を、単ファイバー換算で3000km/月に倍増させた。装置メーカーのラフォーレが、家庭用に販売するのに合せたものである。